

船越光之丞 ふなごし みつひでぢやう 外交官、漢詩人。慶應二年（一月）文藝國生れ（一八六一）。號夷川。男爵船越衛の長男（大正二年襲爵）。ドイツ留學後、明治二十七年外交官領事官試験に合格。各國領事館・大使館勤務後、外務書記官。日露戦争時オーストリアに駐劄して謀政事務に貢献。その後駐ドイツ代理大使となり、大正二年日獨國交斷絶前後の處置に對し世の賞讃を得た。のち貴族院議員。漢詩又を河野小石の學んで五律七絶を得意とし、書は草書を能くした。

著書『日獨國交斷絶秘史』（關野道次編、昭和九年四月十二日、普及版・十月十九日日東書院）刊。